

提出者	質問番号	対象			質問事項	回答
		ページ番号	項番	仕様書の文章		
TAS	1	C-1	1.1.1	<p>当院で令和5年5月1日に稼働する、次期電子カルテシステム、部門システムのバックアップ・リストアができること。</p> <p>現時点で想定している対象のシステムとサーバ台数、データ容量は下記とする。内訳の変動が生じた際は、協議の上対応すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子カルテシステム(医事システムを含む) 容量:20TB 台数:46台 部門システム 容量:80TB 台数:54台 	<p>電子カルテシステム 46台、部門システム 54台との記載がありますが、この台数はバックアップ対象となるサーバ台数と、そのストレージ総量の認識で合っていますでしょうか。</p> <p>必要容量のサイジングで全体量と合わせて下記情報をお教えください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 仮想マシンのバックアップ対象の総容量 物理サーバのバックアップ対象の総容量 画像データの有無と画像データの総容量 DBのデータバックアップ方式（製品に求める要望） ※バックアップサーバへエクスポートする等 DBの総容量と圧縮動作の有無 	<p>記載している台数は、バックアップ対象となるサーバ台数と、そのストレージの容量で認識しております。</p> <p>ご質問の下記について、現時点の想定を記載致します。</p> <p>○電子カルテシステム(医事システムを含む)</p> <ol style="list-style-type: none"> 仮想マシンのバックアップ対象の総容量 約15TB 物理サーバのバックアップ対象の総容量 約5TB 画像データの有無と画像データの総容量 直接の画像データはありません。 画像データは、バイナリでDBの中に格納されています。 DBのデータバックアップ方式（製品に求める要望） 仮想サーバの場合は、特定の静止点において、イメージでDBのバックアップを取得し、取得したバックアップデータから、整合性を保った状態にてエージェントレスでDBをリカバリすることができること。 物理サーバの場合は、エージェントを入れることで上記と同等のバックアップ及びリカバリすることができること。 DBの総容量と圧縮動作の有無 総容量は上記の1,2に含まれ、圧縮は行っておりません。 <p>○部門システム</p> <ol style="list-style-type: none"> 仮想マシンのバックアップ対象の総容量 約72TB 物理サーバのバックアップ対象の総容量 約8TB 画像データの有無と画像データの総容量 画像データはありません。 DBのデータバックアップ方式（製品に求める要望） 上記の、電子カルテシステム(医事システムを含む)と同じです。 DBの総容量と圧縮動作の有無 上記の、電子カルテシステム(医事システムを含む)と同じです。
TAS	2	C-1	1.1.2	<p>1.1.2 本調達に、導入費用(サーバ機器が必要な場合は、サーバ機器を含む)とサーバ機器のオンサイト保守(平日9:00-17:00)の費用を含むこと。また、最低限5年の利用に必要なライセンスがある場合は含めること。</p>	<p>導入費用には、5年間の保守費用も含めるとの理解で宜しいでしょうか。</p>	<p>サーバ機器のオンサイト保守と、ソフトに関してはライセンス利用料・保守費用が別途必要な場合は、本調達に含めてください。</p>
TAS	3	C-1	2.1.3	<p>下記のvSphere、Hyper-Vに対応して、Agentを介さずイメージレベルのバックアップが取得できること。</p> <ul style="list-style-type: none"> vSphere 6.x 以上 Windows Server 2016以降 Red Hat Virtualization 4.4.SP1以降 	<p>vSphere6 は、Ver 6.0 / 6.5 / 6.7 があり、6.0は既にVMwareのサポート終了しております。Ver6.0対象に含まれていますでしょうか。</p> <p>ご使用されている一番下位のバージョンをお教え下さい。</p>	<p>利用を予定しているバージョンはv7.0.3であり、利用を予定している一番下位のバージョンは、v7.0.3となります。</p> <p>VMwareのサポートが終了しているバージョンは対象外としてください。</p>
TAS	4 5	C-1	2.1.5	<p>エージェントレスで仮想インフラ上の以下のアプリケーションをバックアップ可能なこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> SQL Server Active Directory Oracle Database 	<p>バックアップは仮想マシンをエージェントレスで取得すると認識しております。認識が違う場合、想定されるバックアップ方式をお教え下さい。</p> <p>現在、使用されている SQL のバージョンとエディションをお教えください。</p>	<p>はい。ご認識の通りとなります。</p> <p>○電子カルテシステム(医事システムを含む) SQLServer2019 Enterprise Edition</p> <p>○部門システム SQLServer2019 Standard</p>
TAS	6	C-1	2.1.6	<p>市立札幌病院で利用している下記のクラスタ環境のバックアップについて可能であること 電子カルテ・医事システム(NEC製CLUSTERPRO:ミラー型)</p>	<p>CLUSTERPROは、物理サーバ、仮想サーバどちらで稼働していますでしょうか。併せて、正確な製品名とバージョンをお教えください。</p>	<p>CLUSTERPROは仮想サーバで稼働しています。</p> <p>電子カルテDBサーバ、医事DBサーバそれぞれで共有ディスク型のクラスタを構成しています。</p> <p>製品名：CLUSTERPRO X 4.3 for Windows VM</p>

TAS	7	C-1	2.1.7	バックアップが、本番環境のストレージ可用性に影響を与えることがないように、本番環境のデータストアに対して、最大許容I/Oの遅延設定が可能なこと。	I/O遅延設定は、転送量の制御と想定します。 データの通信（転送）量を制限し、I/O制限と同等の制御が可能な「帯域制御」で制限でも宜しいでしょうか。	問題ございません。
TAS	8	C-1	2.1.10	ランサムウェア対策として、バックアップしたデータはランサムウェアに感染し暗号化されない機能を有すること	項番「2.1.12 書き換え不可のバックアップデータとして保存できること。」とあります。この機能と同様に書き込み不可とすることでランサムウェア対策になるとの認識で宜しいでしょうか。 本項と項番「2.1.12」で想定される内容に違いがございましたらお教えください。	ご認識の通りとなります。 項番「2.1.10」と項番「2.1.12」は同じ意図ととらえて頂いて問題ございません。
TAS	9				感染の際にデータ保護は行われていますが、感染の疑いがある挙動など検知する機能は必要になりますでしょうか。	必要ではありません。
TAS	10	C-1	2.1.11	管理者権限のパスワードをどこにも保持せず構築可能であること。 (管理者権限を隠蔽することが可能であること。)	一般的にビルトイン（システム作成）アカウントを消す行為は難しいと考えます。 想定される内容をお教えください。	アカウントを消すわけではなく、管理者権限のアカウントのIDやパスワードを容易に参照できない仕組みを想定しています。
TAS	11		3.1.3	バックアップストレージから複数のVMを瞬時に起動させてストレージのデータも移行可能なこと。また、vSphere以外のハイパーバイザやクラウド・物理サーバのバックアップをvSphereへ瞬時に復元できること。	「vSphereへ瞬時に復元できること」vSphere以外の環境から、vSphereへ復元する場合、変換する処理が入ります。瞬時に展開する事は難しいと認識しておりますが、どの様な動作・処理を想定しているかお教えください。	変換する処理を前提として、最短の時間で復元することを想定しています。
TAS	12		3.1.4	ストレージに直接接続しバックアップおよびリストアが実行可能なこと。	対象とする製品により対応可否がございます。 想定しているストレージの製品名とバージョンをお教えください。	下記となります。 ○電子カルテシステム(医事システムを含む) NEC製のストレージ ○部門システム ビュア・ストレージ製のストレージ
TAS	13	C-1	4.1.1	VMware vSphere 6.x以降、およびMicrosoft Hyper-V 2012以降。両方のハイパーバイザーを単一のコンソールから管理できること。	バックアップジョブの管理を一元化を指していると認識します。 認識に違いが有る場合、想定される内容をお教えください。	はい。ご認識の通りとなります。
TAS	14	C-1	5.1.1	VMware vMotion、Storage vMotion等の移行テクノロジーを使用してホスト間またはデータストア間でVMware VMを移行できること。	バックアップシステムでは無くVMwareの機能を指していると認識します。 認識に違いが有る場合、想定している内容をお教えください。	はい。ご認識の通りとなります。
TAS	15	C-1	5.1.2	システム構成として、バックアップソフトウェアを用い汎用OSやオープンソースを活用し、脆弱性のセキュリティパッチを迅速に適用できること	バックアップサーバの自身のアップデート機能を指していると認識します。 認識に違いが有る場合、想定している内容をお教えください。	はい。ご認識の通りとなります。